

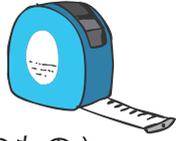


# 校庭の木の高さを測ってみよう!



## 1 準備するもの

- ・ 巻尺  
(30mくらいのもの)



- ・ 重り



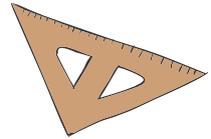
(ひもをピンと引っ張れる消しゴム程度のもの)

- ・ ひも

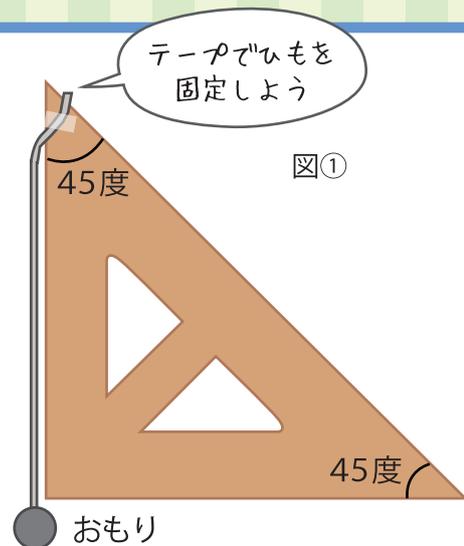


(定規の大きさに合わせて長さを調整する)

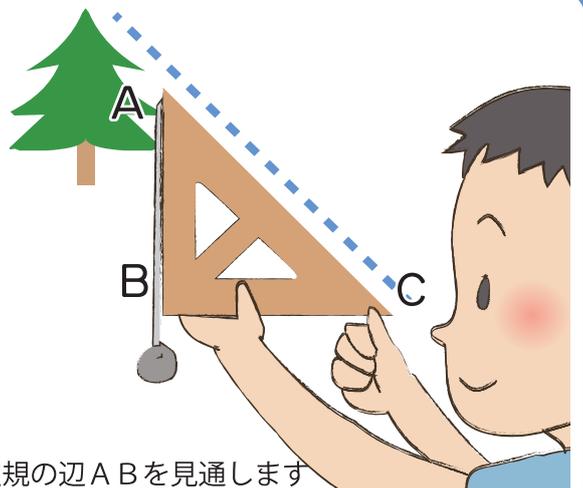
- ・ 直角二等辺三角形の定規  
(出来るだけ大きなもの)



2 最初に、三角定規の45度の角度のところにおもりを付けたひもを取り付けます。(図①)



3 次に三角定規のCからABの辺を見通し、測る木の1番高いところがAと重なって見えるところまで後ろにさがります。



(図②、注意点は図③)

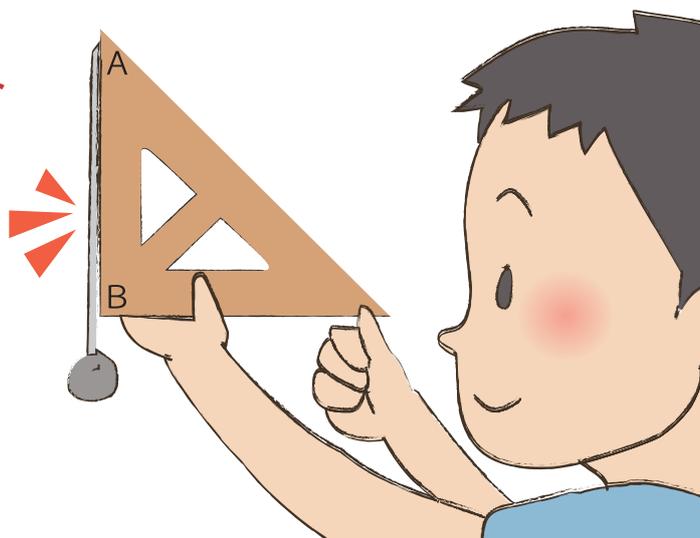
図②三角定規の辺ABを見通します



## ※ 測る時のポイント

おもりをつけた糸と  
三角形の辺A Bが平行に  
なった位置で測って  
ください

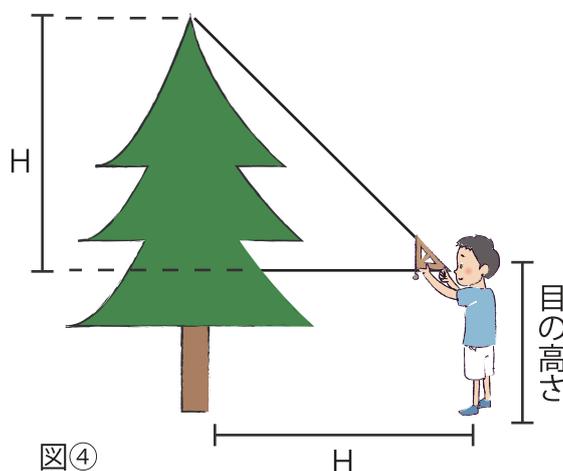
図③



**4** 次に、さがった位置から木までの距離を  
巻尺で測ります。その距離に測った人の  
目から地面までの高さを測って足し  
ます。それが木の高さになります。

(図④)

**樹高 = H + (目の高さ)**



図④

## 実際に自分で測ってみよう!

実際に4の図や計算方法を使って校庭などの木の高さを測ってみよう!

